

特定非営利活動法人 A SEED JAPAN

# 2022年度年次報告書



# A SEED JAPAN概要

## ミッション

持続可能で公正な社会をつくるため、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会・経済システムを変えていきます。

### 1.環境問題を経済や社会構造そのものから見据えていきます

私たちは、環境問題や南北問題が進行している原因は経済や社会の構造そのものにあると考え、その根本にある原因を見据えて行動します。

### 2.青年の立場から環境問題をわかりやすく伝えていきます

私たちは、環境問題や社会的な不正について、またそれらの問題と私たちのライフスタイルが密接につながっていることを、青年をはじめとする多くの人々にわかりやすく伝えていきます。

### 3.長期的視野を持って社会を変えていきます

私たちは、地球の未来を危惧するメッセージを継続的に発信していきます。そして、長期的な視野を持ち、現在の社会システムを変えていくための提案と行動を起こしていきます。

## 沿革

### ◆国際キャンペーン時代(1991年~1992年)

1990年10月 世界約50カ国以上の青年環境団体が参加して「A SEED 国際キャンペーン」が欧米の26ヶ国でスタート。  
1992年6月 リオデジャネイロで開かれた150ヶ国以上の首脳が参加した地球サミット(国連環境開発会議)およびNGOグローバルフォーラム(ブラジル)に代表を派遣。

### ◆任意団体A SEED JAPAN時代(1992年7月~2014年2月)

1995年4月 Youth Action for APECキャンペーン発足。  
1997年12月 気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)にて、メディアアピール活動を展開。  
1998年1月 A SEED Europeと連携して「ウクライナ原発反対のDICEキャンペーン」を展開。  
1998年7月 FUJI ROCK FESTIVALでごみゼロナビゲーションが環境対策事業を開始。  
2002年8月 国連持続可能な開発会議(南アフリカ・ヨハネスブルク)へ7名を派遣。  
2007年3月 世界水フォーラム(大阪・京都・滋賀)にてアクションを実施。  
2007年5月 アジア開発銀行(ADB)年次総会において、化石燃料から自然エネルギーへの転換を求めるパフォーマンスを実施。

2008年3月 Japan Youth G8 Projectと共催で「持続可能な社会のための日本青年サミット/Japan Youth Forum Toward G8 Summit ~for Sustainable Society~」を開催。  
2008年7月 北海道・洞爺湖で開催された洞爺湖G8サミット直前に、他のユース団体と世界青年フォーラムを開催し、政府担当者とのダイアログを実施。  
2010年10月 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)へ活動メンバー60名を派遣し、アクション、提言活動を実施「COP10重要論点フォーラム~これだけは譲れない!ユースの視点」を開催。  
2012年6月 国連持続可能な開発会議(リオ+20)へ活動メンバー3名を派遣。  
2013年6月 アフリカ会議開発会議TICAD5(横浜)に有志メンバーを派遣。

### ◆NPO法人A SEED JAPAN時代

2014年2月 ごみゼロナビゲーション事業 分離・独立  
2014年4月 法人格取得  
2015年 アースデイ東京2015/2016事務局を担う。フェア・ファイナンス・ガイド実行委員団体としてキャンペーンを実施

## 理事会より

2022年度は有給スタッフに鈴嶋が加わり、事務局は小川との2人体制となりました。事務局業務のうち総務部分は小川が担い、円滑に6月に引っ越しを行うことができました。鈴嶋は週2~3日、リモート勤務も併用し広報や渉外、助成金対応、学生へのアウトリーチなど組織的な課題を改善する業務を担当しながらもプロジェクトの活動推進も業務として担いました。学生メンバー獲得を目指し、オリエンテーションやインターンの参加募集をウェブサイトやactiveなどの外部サービスも利用し、大学のボランティアセンターに広報協力の要請をするなど、積極的に募集活動を行いました。ESGウォッチプロジェクトを推進する中で勉強会やブース出展、気候マーチへの参加など、対外的な活動は活性化し、ほぼ毎月数名ずつオリエンテーションやインターンへの申し込み、問い合わせが入るなどの好循環が生まれつつあります。また、通年を通じてプロジェクトのための資金調達という観点から助成金申請にも積極的に取り組みました。

経営面では10月に大村が新しく理事として加わり、人財育成を含めて理事会の経営力を強化しました。組織として数年後のビジョン検討が始まりました。目指す社会変化のために会員の皆さんとともにA SEED JAPANのこれからの姿を描き、少しずつ前進していきたいと思えます。

# 2022年度組織概要

## 役員/事務局スタッフ・ボランティア

名前	役職	担当
大坂紫	理事	ハブ30
大村哲史	理事	人材育成
鈴嶋克太	理事・事務局スタッフ	ESGプロジェクト
田川道子	理事	エコ貯金ラボ
濱田恒太郎	代表理事	全体統括
三本裕子	理事	組織基盤

## 事務局スタッフ・ボランティア

名前	役職	担当
小川 暁平	事務局スタッフ	総務
鈴嶋 克太	事務局スタッフ	事業
富田 一	委託	会計
長峰 友子	ボランティアスタッフ	広報・Web
浦山 裕史	ボランティアスタッフ	広報・Web

# 活動報告

## 年間の活動

2022年度は、イベント開催だけでなく、他団体のイベントへのブース出展やミーティングへの参加など積極的に対外的な関係性構築にも注力した一年となりました。

4月

5月

6月

- ・勉強会「非人道的兵器にあなたのお金を使わせないためにできること」開催（ESGウォッチプロジェクト）
- ・事務所引っ越し

7月

- ・会員総会

8月

- ・SDGs Youth Summit 2022 名義後援、ブース出展（主催：Japan Youth Platform for Sustainability Summit）（ESGウォッチプロジェクト）
- ・スキル・ベースド・ボランティア プレゼンテーションワークショップ参加（主催：ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ）（ESGウォッチプロジェクト）
- ・勉強会「『それ本当にESG?』～世界の森を守るためにできることを考えよう!」開催（ESGウォッチプロジェクト）
- ・インターン受け入れ（主催：ドットジェイピー）（事務局）

9月

- ・第3回横須賀気候マーチ 参加（主催：横須賀火力発電所建設を考える会／People Powerよこすか）（ESGウォッチプロジェクト）
- ・大阪IR・カジノへの銀行融資に反対する院内集会 協力・銀行前アピール（主催：AMネット）（事務局）

10月

- ・RED, GOLD & GREEN にEco Life Guide 設置（エコ貯金ラボ）
- ・【ウェビナー on 国際アクションデー】「気候変動の新たな脅威 ～大規模バイオマス発電の妄想～」共催（主催：FoE Japan、地球・人間環境フォーラム）（ESGウォッチプロジェクト）

11月

- ・明治学院大学 講義（エコ貯金ラボ）
- ・エコ就職カフェ2022「世界の森林を守るための政策提言活動とは?開催」（ハブ30）
- ・オンラインセミナー「カナダ・ブリティッシュコロンビア州の林産業・木質ペレット生産現場 視察報告」協力（主催：地球・人間環境フォーラム、Mighty Earth）（ESGウォッチプロジェクト）

12月

- ・エコ就職カフェ2022「生物多様性を守るための国際会議での政策提言活動とは?」開催（ハブ30）

1月

2月

- ・インターン受け入れ（主催：ドットジェイピー）（事務局）
- ・エコノミクス甲子園ビジネスラウンド 講師（主催：金融知力普及協会）（エコ貯金ラボ）
- ・「若者のESGウォッシュに対する意識調査」実施（ESGウォッチプロジェクト）

3月

- ・未来世代法勉強会（講師：東北大学教授 明日香壽川氏） 参加（主催：日本若者協議会）（事務局）
- ・勉強会「投資信託におけるESGウォッシュを知ろう」～「脱炭素」「カーボンニュートラル」「気候変動対策」、その中身をウォッチ!!!」開催（ESGウォッチプロジェクト）
- ・社会に優しいお金の流れとライフプランを考えるプチセミナー開催(エコ貯金ラボ)
- ・『「企業のエシカル通信簿」結果発表会 ～加工食品メーカー』協力（主催：消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)（事務局）

# エコ貯金ラボ

## 活動概要

- ・持続可能な社会に向けた社会的金融文化を醸成する
- ・知識や人脈の構築、運営資金の獲得等、1年後を目途に自立できるためのノウハウを構築していく。

## 2022年度Objective：プロジェクトの目標

- 1.啓発活動を実施する（プチセミナーの開催やイベント登壇等）
- 2.認知度を拡大する（Twitter等のSNS）

## 2022年度Key Results：達成指標と評価

### 1.啓発活動実施

#### i) ウェブサイトEco Life Guideの更新

市民が、社会性まで目を向けて金融を利用するための情報を掲載する。

- ・啓発を目的としたコラムを連載する（月1回）
- ・過去つながりのあった方々へお知らせする（各種NPOバンク、オイコクレジット・ジャパン、Friends of the Earth Japan、WWF Japan等）

#### ii) セミナー等登壇

### 2.認知度拡大

- ・Twitterを投稿継続する（週1回程度投稿）  
＜投稿する内容＞
  - ・社会問題（問題提起）
  - ・資産形成（将来に備える）
  - ・エコな話題（気軽な話題）
- ・フォロワーは200人を目指す

## 【評価】

### i) ウェブサイトEco Life Guide

#### （<https://ecolifeguide.jp/>）の更新

コラムの定期的な更新が課題だったが、タイムリーな文章作成が行えず1回の更新となった。更新が遅延したため、他団体へのお知らせも行えなかった。

### ii) セミナー等登壇

- ・明治学院大学講義（2022年11月10日）は3年ぶりにリアル開催、約70人の学生が受講。銀行などに預けたお金のその先やエシカルな消費について初めて考えた学生が多く、大変貴重な機会になったとの感想をもらった。
- ・全国から選抜された高校生が参加するエコノミクス甲子園ビジネスラウンド（2023年2月25日）にて、金融の社会性についてレクチャーを実施。グループディスカッションのテーマに、「軍需産業への投資はESGに反するか否か」を選び、生徒たちはディスカッションを行なった。約30人が参加し、「より良い社会とは何か」「平和とは何か」等を考えるきっかけになったとの感想をもらった。
- ・オンラインセミナー（2023年3月17日）開催。当日参加希望の問い合わせがあったが対応が行き違いとなり、メンバーの知人1人のみ参加。参加者は金融機関勤務だが、環境と金融のつながりについて考える良いきっかけになったとの感想を頂いた。

定期的なツイートは続けたが、フォロワー獲得数が伸びなかった。今後、認知を広げていくための基本的な方法（タグを30個つける、時間帯を工夫する等）を地道に行なっていく。

- ・Twitter 120ツイート（2021年8月～）  
31フォロワー（2023年3月31時点）

担当理事：みっちゃん

メンバー：おーちゃん、ゆかりん、キャサリン、てら

# ESGウォッチプロジェクト

## 活動概要

ESGウォッシュが起こっている社会構造が改善され、私たち（市民・個人投資家）一人ひとりが、真にESGにかなう投資を行うことができることを目指して活動する。

## 2022年度Objective：プロジェクトの目標

- 1.【市民】一人ひとりがESGを判断できる知識を持っている。
- 2.【金融セクター】ESGウォッシュが疑われるファンド（投資信託）の改善を資産運用会社等に促す取り組みを1つ以上行う。

## 2022年度Key Results：達成指標と評価

### 1.【市民】一人ひとりがESGを判断できる知識を持っている。

- i) 内部勉強会を実施し、ESGウォッチメンバー全員が、ESGの重要性やその原則についての理解を深める（評価方法：アンケートを実施）。
- ii) 内部勉強会を実施し、ESGウォッチメンバー全員が、バイオマス発電事業に関する政策・企業活動についての理解を深める（評価方法：アンケートを実施）。
- iii) 上記の内容を「ESGウォッチ・インフォメーションシート」および「ESGウォッチ宣言」の形で発信し、150人の宣言賛同者（内訳は下記）を目指す。
  - 1.公式HP及びESGウォッチ特設サイトで公開し、25人が賛同する。
  - 2.第4回勉強会を開催し、勉強会参加者年間累計50人を目指す。第4回勉強会で参加者25人がESGウォッチ宣言に賛同する。
  - 3.インスタフォロワーを100人に増やし、他のSNSアカウントフォロワーも含めて、合計100人がESGウォッチ宣言に賛同する。

## 【評価】

- i) 内部勉強会は実施できていないものの、2023年3月26日の勉強会に向けたインフォメーションシートの作成を通じて、ESG投資・ESGウォッシュの現状について、活動メンバーの理解を深めることができた。
- ii) 内部勉強会は実施できていないものの、2023年3月26日の勉強会に向けたインフォメーションシートの作成を通じて、活動メンバーが基礎的な理解を獲得することができた。
- iii) 「インフォメーションシート」（第一版）はほぼ完成し、「ESGウォッチ宣言」のたたき台も作成することができた。また、インフォメーションシート内の企画として「ESGウォッシュについての意識調査」を実施し、122人の回答（2023年3月25日時点）を集め、活動の理論的根拠・提言内容の土台となる生の声を得ることができた。しかし、ESGウォッチ宣言への賛同を集め始めるには至っていない。
  - 1.特設サイトは開設できなかった。
  - 2.第3回勉強会（2022年6月25日）は16人（うち活動メンバー9人）、ミニ勉強会(2022年8月31日)は9人（うち活動メンバー5人）、第4回勉強会（2023年3月26日）は9人（うち活動メンバー5人）で、合計34人の参加。
  - 3.インスタフォロワーは68人（2022年10月13日）から72人（2023年3月26日時点）に増加したが、目標を達することができなかった。

2. 【対金融機関】 バイオマス発電事業に絡むESGウォッシュが疑われるファンド（投資信託）を運用する資産運用会社の運用が改善される。

① 「ESGウォッチ・インフォメーションシート」の公開をプレスリリースで発信する。

② 大規模輸入バイオマス発電事業を組み入れている運用会社に対して「ESGウォッチ・インフォメーションシート」を届け、運用会社のバイオマス発電事業についての見解・方針・投資状況を明らかにするよう働きかける。



### 【評価】

上半期のKey Results (<https://www.aseed.org/about/objective/>) としていた「内部勉強会によりチームのESG知識を強化する」に関しては、2022年7月24日に地球・人間環境フォーラムの飯沼佐代子さんを講師にお呼びして実施した内部勉強会、2022年8月31日のミニ勉強会、全体ミーティングの場でのメンバー同士の情報共有を通じて達成できた。

※2022年7月24日の内部勉強会：[https://www.aseed.org/report/220724esg\\_studysession\\_biomasspower](https://www.aseed.org/report/220724esg_studysession_biomasspower)

2022年8月31日のミニ勉強会：[https://www.aseed.org/report/220831esg\\_ministudysession\\_forest](https://www.aseed.org/report/220831esg_ministudysession_forest)

下半期のKey Result①として掲げていた、「プレスリリースの発信」は、未達成に終わった。

Key Result②については、前述「インフォメーションシート」の作成を通して、働きかける内容（要請する内容）は具体化させることができたものの、実行には移せなかった。

※2023年5月現在シートを公開し、プレスリリースの2023年度内発信に向けて活動中です。

※「インフォメーションシート」：「ESG投資が重視されている背景」、「ESGウォッシュとは何か」を解説し、具体的な投資信託の分析を基に、読者がESGウォッシュについての理解を深めることを目的に作成しています。

※「ESGウォッチ宣言」：「ESGウォッチプロジェクトがESGウォッシュをなくすために必要だと考えていること」及び「一般市民がESGウォッシュを無くすために必要な心構え・行動」をまとめ、その共感を広く社会に呼びかけるために作成しています。

※詳細は、下記URLよりご覧ください。

[https://www.aseed.org/230326\\_esgwatch\\_seminar](https://www.aseed.org/230326_esgwatch_seminar)

- ・担当理事：かつ
- ・プロジェクトメンバー：まゆっち、にっしー、もっぴー、かほ、ガリレオ、こうへい、はらこ、ささじゅん、くれば、ゆかりん、みつもと、はまこー、おーちゃん、あべし（夏インターン）

# ハブ30

## 活動概要

OGOの知見を、現場のメンバーとつなぐ。

## 2022年度Objective：プロジェクトの目標

1. ワカモノメンバーが国際会議に参画できるよう、これまでのノウハウを整理するとともに、いくつかの国際会議に焦点を絞り、ウォッチする。
2. A SEED DAY記録を配布するとともに、ローカルで頑張るASEEDerを現場ツアー等を通じて取材する。
3. OGOとのコンタクトを通じて、若者のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する。

## 2022年度Key Results：達成指標と評価

1. ワカモノメンバーが国際会議に参画できるよう、これまでのノウハウを整理するとともに、いくつかの国際会議に焦点を絞り、ウォッチする。
  - 2023-2024年度に参加できそうな国際会議のめど(2, 3個)をつけ、日程を把握できる状態になる



国際会議について、ノウハウ整理及び具体的なウォッチは、今後の戦略が見通せず、実施に至らなかった。

2. A SEED DAY記録を配布するとともに、ローカルで頑張るASEEDerを現場ツアー等を通じて取材する。

- OGOツアーを開催する(都内近郊2回、遠方1回)



A SEED DAYの記録はまだ配布できていない。  
※2023年5月現在、事務局業務に担当を移し取り組んでいます。

3. OGOとのコンタクトを通じて、若者のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する。

- i) Facebookグループの理事以外の投稿を月5件以上にする。
- ii) OGO40人以上(うち海外等遠方10人以上)の近況をメンバーが共有できているようになる。
- iii) 会員復活10人、活動復帰10人を旨す。



- Facebookグループの投稿を増やすための取り組みができなかった。
- OGOツアー開催は叶わなかったが、OGOを講師に社会課題と当時のA SEED JAPANの活動を学ぶエコ就職カフェを2回開催した。

①-2022年11月19日 エコ就職カフェ2022「世界の森林を守るための政策提言活動とは？」開催

〈講師：岸田ほたるさん／申し込み者：1人〉

②-2022年12月24日 エコ就職カフェ2022「生物多様性を守るための国際会議での政策提言活動とは？」開催

〈講師：小林邦彦さん／申し込み者：1人〉

- 担当理事：ゆかりん
- メンバー：はまこー、みつもと、かつ



# 生きる働く

## 活動概要

- ・ゲストに呼んだASJのOGOBの人となりがわかるような対談・ディスカッションを通して、学生や若手社会人に知ってもらう機会になる
- 環境問題だけではなく、生きることや働くことという視点から新たな層に対してリーチする。
- 組織などの肩書きを背負って話す機会とは違い、等身大な個人に焦点を当てる。

## 2022年度Objective：プロジェクトの目標

1. 視聴回数：各動画300回を獲得する（YouTubeでの配信）
2. 配信経由でASJのオリエンテーションに10人が参加する。

## 2022年度Key Results：達成指標と評価

### 1. 視聴回数：各動画300回を獲得する（YouTubeでの配信）

- ・第1回・第2回（昨年度実施）の動画配信をスタートする
- ・10名に対して、対談・ディスカッションでの収録をし、編集後に約30本の動画を配信する。
- ・第3回以降の企画の検討、実施をする。
- ・各種SNS（Facebook、Twitter、Instagram等）、koyashi-MLで広報する。

→ 第4回まで収録を行ったが、編集作業を完了させることができず、公開には至らなかった。

- 第1回：えぐっちゃん（江口 健介さん）
- 第2回：おーちゃん（大村 哲史さん）
- 第3回：しま（長島 遼大さん）
- 第4回：かつ（鈴嶋 克太さん）

### 2. 配信経由でASJのオリエンテーションに10人が参加する。

- ・各回のゲストの魅力を発信し、A SEED JAPANの活動に参加することの意味や意義を伝える。
- ・ゲストの中に、現役メンバーも登場させ、共に活動をしたいと思ってもらう。
- ・各動画でオリエンテーションの案内をする。
- 動画内でのアナウンス・概要欄にリンクを貼る

→ 1が未達成のため情報発信を行うことができず未達成。

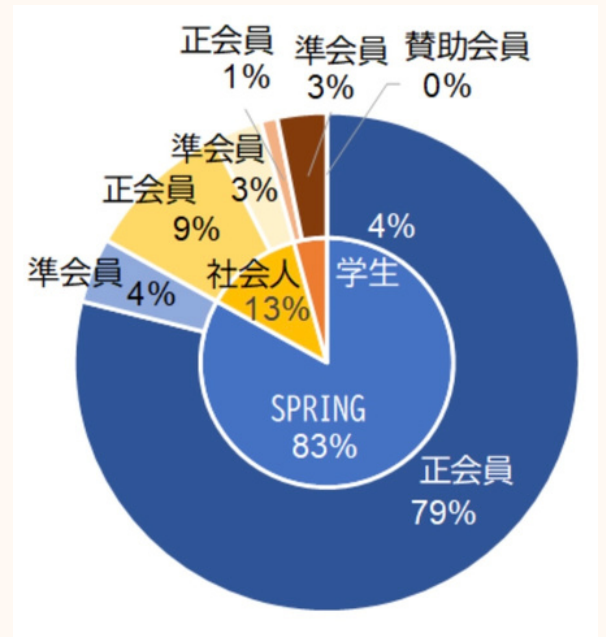
- ・担当理事：はまこう
- ・メンバー：あかつき

# 事務局報告

## 会員

2021年度と比べてSPRING会員は5人退会しました。社会人（Root）会員は2人増加し、学生（Tree）会員は1人減少しました。（2023年3月31日時点）

会員種別	会員数	2021年度からの増減数
SPRING正会員	75	-5 (80)
SPRING準会員	4	+1(3)
社会人正会員	9	+2 (7)
社会人準会員	3	+0 (3)
学生正会員	1	-2 (3)
学生準会員	3	+1 (2)
個人賛助	0	0
合計	95	-3 (98)



## マンスリーサポーター

人数：8人

2021年度からの増減数：-1(9)

## オリエンテーション

オリエン参加者 10人

ミーティング見学者 内 6人

ESGウォッチプロジェクトへの参加者 内 4人

新規会員 4人（学生2人、社会人2人）

## 広報

### 1. 大学ボランティアセンターへの働きかけ

14大学（※）に対して、以下の情報提供を実施

- ・5月中旬：団体登録情報及び2022年6月25日のESGウォッチ勉強会について
- ・8月中旬：2022年8月31日開催のESGウォッチミニ勉強会について
- ・3月上旬：2023年3月21日のエコ貯金・プチセミナー、2023年3月26日のESGウォッチ勉強会、人材募集(活動メンバー及びインターン)の件について

（※）東洋大学、青山学院大学、東京都立大学、明治大学、成蹊大学、日本社会事業大学、中央大学、法政大学、亜細亜大学、明星大学、国際基督教大学（ICU）、立教大学、明治学院大学、上智大学

### 2. メールニュースレターの配信

発行日	ニュースレタータイトル
2022年8月15日	活動報告 & 活動予定～A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト
2022年8月19日	「『それ本当にESG?』～世界の森を守るためにできることを考えよう！」（8月31日(水) 20:00～21:00開催 ESGウォッチ オリエンテーション×ミニ勉強会）
2022年10月12日	7～9月 活動報告 & 10月活動予定～A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト
2022年12月15日	活動報告 & 12月20日(火)、12月23日(金) 開催 協力セミナーのお知らせ
2023年3月7日	A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト～活動予定・イベント案内、インターン・活動メンバー募集、ESG関連ニュース
2023年3月10日	A SEED JAPAN 3月の勉強会（エコ貯金、ESGウォッチ）とアンケートのお願い

## 講師・委員派遣

日付	内容	名前
2022年11月10日	明治学院大学 講義	田川
2023年1月17日 ～3月2日	「脱炭素チャレンジカップ」ありかた検討会 委員（ユースメンバー）（主催：一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット）	鈴嶋
2023年2月25日	エコノミクス甲子園ビジネスラウンド（高校 生向けプレゼンディスカッション議題提示）	田川

## 賛同案件

日付	内容	呼びかけ団体
2022年8月3日	大阪IRからの融資撤退を求める要請	AMネット
2023年3月3日	世界気候アクション0303	Fridays for Future

## 加盟団体

団体/ネットワーク名	関わり方(いずれも団体)	備考
グリーン連合	会員	<a href="https://greenrengo.jp/">https://greenrengo.jp/</a>
認定NPO法人気候ネットワーク	賛助会員	<a href="https://www.kiconet.org/">https://www.kiconet.org/</a>
認定NPO法人日本NPOセンター	準会員	<a href="https://www.jnpoc.ne.jp/">https://www.jnpoc.ne.jp/</a>
SDGs市民社会ネットワーク	情報会員	<a href="https://www.sdgs-japan.net/">https://www.sdgs-japan.net/</a>
消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク	参加団体	<a href="https://cnrc.jp/members/">https://cnrc.jp/members/</a>
Fair Finance Guide Japan	協力団体	<a href="https://fairfinance.jp/">https://fairfinance.jp/</a>
パワーシフト・キャンペーン	賛同団体	<a href="https://power-shift.org/">https://power-shift.org/</a>
eシフト	参加団体	<a href="http://e-shift.org/">http://e-shift.org/</a>
G7市民社会コアリション2023	団体会員	<a href="https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/">https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/</a>

## その他

- ・コンプライアンス規程の策定
- ・社労士への労務環境の相談

# 会計報告

2022年度は、当初予算としては約150万円の赤字予算でしたが、最終的には予算と比べて赤字が約130万円増加し、約281万円の赤字決算となりました。昨年度と比べると117万円の赤字増加となりました。主な要因としては以下のとおりです。

1) 収入面：助成金の予算100万円には実際には獲得できなかったこと

2) 支出面：予算に計上していない事務所移転費用が30万円ほど発生したこと

なお、2023年度は事務局の人件費と事務所の家賃等の削減や助成金収入(パタゴニア環境助成金及び地球環境基金)を事業経費に充てられるため、2022年度比で200万円ほど赤字削減の見込みです。

## 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
現金	80,356	未払費用	682
普通預金	9,435,269	預り金	2,297
未収入金	2,000		
		<b>負債の部合計</b>	<b>2,979</b>
商品	42,366	<b>正味財産の部</b>	
前払い費用	1,628	<b>【指定正味財産】</b>	
未収金	3,300	前期繰越指定正味財産	0
		当期指定正味財産増減額	0
<b>【固定資産】</b>		<b>【一般正味財産】</b>	
長期前払い費用	11,396	前期繰越一般正味財産	12,391,786
		当期一般正味財産増減額	-2,818,450
		<b>正味財産の部合計</b>	<b>9,573,336</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>9,576,315</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>9,576,315</b>

### 監事監査報告書

監査の結果、2022年4月1日より2023年3月31日までの第8期事業年度における財務諸表及び活動報告は、同時点の特定非営利活動法人 A SEED JAPAN の財産及び収支並びに理事の業務執行の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

2023年5月21日

特定非営利活動法人 A SEED JAPAN

監事 矢口 拓也 

## 資料2-1

書式第13号(法第28条関係)

2022年度 活動計算書			
2022年4月1日から 2023年3月31日まで			
特定非営利活動法人A SEED JAPAN			
(単位:円)			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	44,000		
準会員受取会費	13,000		
SPRING会員受取会費	438,000		
賛助会員	0	495,000	
2 受取寄附金			
SPRING会員	278,500		
その他受取寄附金	312,256	590,756	
3 受取助成金等			
受取助成金振替額	0	0	
4 事業収益			
(1)環境及び社会問題に関する情報収集・提供事業	0		
(2)環境及び社会問題に関する普及啓発事業	58,900	58,900	
5 その他収益			
受取利息	93		
雑収入	2,443	2,536	
経常収益計			1,147,192
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	1,119,414		
法定福利費	6,525		
人件費計	1,125,939		
(2)その他経費			
地代家賃	286,171		
備品消耗品費	30,407		
通信費	24,326		
発送費	2,655		
旅費交通費	89,373		
会議費	0		
諸会費	11,000		
保険料	3,500		
支払手数料	4,788		
謝金・業務委託費	123		
印刷製本費	4,044		
広告宣伝費	3,190		
水道光熱費	6,000		
雑費	0		
その他経費計	465,577		
事業費計		1,591,516	
2 管理費			
(1)人件費			
給料・賞与	1,319,159		
法定福利費	19,573		
人件費計	1,338,732		
(2)その他経費			
地代家賃	286,170		
備品消耗品費	30,406		
通信費	24,326		
発送費	2,655		
旅費交通費	136,365		
諸会費	6,375		
支払手数料	278,606		
謝金・業務委託費	128,465		
印刷製本費	4,044		
水道光熱費	6,000		
修繕費	27,904		
雑費	104,078		
その他経費計	1,035,394		
管理費計		2,374,126	
経常費用計			3,965,642
当期経常一般正味財産増減額			-2,818,450
当期一般正味財産増減額			-2,818,450
前期繰越一般正味財産額			12,391,786
次期繰越一般正味財産額			9,573,336

# A SEED JAPANでは、 活動メンバー・サポーターを募集しています!

私たちは、経験や年齢にとらわれず、どうすればもっと自由に意見を交換し、協力し、自らの可能性を伸ばしていけるのかを考えてきました。私たち青年が未来から課せられた役目の重大さとは裏腹に、現在日本社会において、青年・学生の声はまだまだ小さく弱いものです。この現状を変えていくために、私たち青年は、自分自身の声を確実に形にして行かなければなりません。

A SEED JAPANの様々なプロジェクトは、企画・運営とも青年自身の手で行われています。

すべてのプロジェクトは「こうしたい」というささやかな夢からはじまります。

そして一人ひとりの相互努力によって、たくさんの仲間が集い、ときには1,000人もの人々の心を揺さぶるものへも発展するのです。

A SEED JAPANは、今日もみなさんと一緒に考えます。A SEED JAPANではスタッフを募集しています。あなたもA SEED JAPANのボランティアスタッフとして参加しませんか。少しでも空いた時間を使って、あなたの持っている興味・知識・情報・技術を生かして一緒に活動しましょう。

気軽に事務所に遊びに来てください。

	正会員	準会員	賛助会員
Root(一般)	¥5,500	¥5,000	
Tree(学生)	¥3,500	¥3,000	
Ground (賛助会員個人)			¥10,000
Ground (賛助会員団体)			¥30,000

## サポーターになるには?

マンスリーサポートになる 月々500円からご入会いただけます。下記のURLをご覧ください。事務局へお問い合わせください!

<http://www.aseed.org/donation/>  
ご寄付を受け付けております。

## 団体概要

団体名:特定非営利活動法人A SEED JAPAN  
設立:1991年9月(※法人格取得日 2014年4月1日) 代表:濱田恒太郎  
会員総数:95名、マンスリーサポーター 8名(2023年3月末現在)

役員(2022年度)

<理事>濱田恒太郎、大坂紫、大村哲史、鈴嶋克太、田川道子、三本裕子

<監事>矢口拓也

発行:特定非営利活動法人A SEED JAPAN 発行日:2023年9月4日

編集責任者:鈴木真悠子

編集:鈴木真悠子

〒102-0082東京都千代田区一番町9-7一番町村上ビル6F

E-mail :[info@aseed.org](mailto:info@aseed.org)

TEL :03-5826-8737

FAX :03-3263-9463

URL : <http://www.aseed.org/>

## 会員になるには?

Webサイトから、もしくは事務局にお問い合わせください。不定期で活動説明会も開催しています。

お気軽にお越しください!

オリエンテーションのご案内は  
こちらから!

<http://www.aseed.org/admission/>

銀行振り込みやイベントを通じてご入会の手続きができません。

### ■お振込み先口座

口座番号:00130-8-609558

加入者名:A SEED JAPAN

■ご依頼人情報をご記入ください。

住所氏名欄:ご住所、お名前(フリガナ)、電話番号、E-mailをご記入ください。

通信欄:A SEED JAPANのことをどこでお知りになったか、性別、生年月日(西暦)、ご職業、ご送金の内訳、領収書をご希望かをご記入ください。

